

問3 IT 保守・運用コスト削減計画の監査について

景気変動が激しく、国際競争が厳しい経営環境において、無駄なコストを減らして収益性を高めることは、組織にとって重要な経営課題の一つである。IT は、今日の経営に不可欠なものである一方で、そのコストは年々増加傾向にある。組織が全社的にコストを抑制していく中で、IT コストについても削減に向けた適切な取組が必要になっている。

IT コストは、ハードウェア、ネットワークなどのインフラ構築や業務システムの開発などの導入コストと、構築したシステムを維持するための保守・運用コストに分けられる。導入コストは当初だけ発生するのに対して、保守・運用コストはその情報システムが廃棄されるまで継続的に発生する。したがって、IT コストの削減においては、保守・運用コストをいかに削減するかが重要なポイントになる。

しかし、IT 保守・運用コストの削減がシステム障害、情報漏えい、利用者の満足度低下、及び IT 部門の技術力・管理能力の低下につながることもある。また、取組の結果、削減額や削減達成時期などの当初目標を達成できないこともある。

システム監査人は、IT 保守・運用コスト削減計画の策定・実行プロセスについて監査するだけでなく、削減によって生じるリスク、将来的な影響、目標達成の可能性など、削減計画の内容の妥当性についても監査する必要がある。

あなたの経験と考えに基づいて、設問ア～ウに従って論述せよ。

設問ア あなたが関係した組織や業務における IT 保守・運用コスト削減の取組の概要について、削減対象及び対象とされた理由を含め、800 字以内で述べよ。

設問イ 設問アに関連して、削減計画の内容の妥当性を監査する場合の監査項目について、監査項目とした理由を含め、700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。

設問ウ 設問イに関連して、監査で発見された問題点とその改善案について、700 字以上 1,400 字以内で具体的に述べよ。